

みなさんの生の声が聞きたい！

町民と議員の意見交換会を開催しました



10月17日に開催された、町民と議員の意見交換会の様子
たくさんの貴重なご意見をお聞きすることができました。

議 会

開かれた町民みんなの議会をめざします

だより

編集：上士幌町議会 議会だより編集特別委員会

第173号 平成28年11月

十勝町村議会議員研修会

10月31日、幕別町「百年記念ホール」において十勝町村議会議長会主催の研修会が行われました。講師に公益財団法人とかち財団理事長長澤秀行氏をお招きし、「産学官連携によるモノづくり、ヒトづくり、コトづくり」と題し、講演をいただきました。

◆産学官連携メリット

- ・技術や経営課題に関する専門家からの適切なアドバイスが受けられる。
- ・技術、商品、経営戦略などに関する見直しや新たな発想が期待できる。
- ・大規模な資金や設備を必要とする開発や試験への取り組みができる。
- ・研究能力や経営能力の向上や人材育成につながる。
- ・専門分野における研究者との人脈の構築ができる。



産業経済建設 常任委員会 委員会レポート



公共工事調査が行われました



▲豊栄東1線道路改良舗装工事

産業経済建設常任委員会の公共工事調査が10月31日に町内にて行われました。



▲上士幌西38号道路改良工事



▲上士幌東4線農道改良 排水管路工事



▲生涯学習センター改築建築主体工事



▲上士幌小学校職員室改修工事



▲サポートセンター白樺改修工事



▲旧上士幌高校公宅改修工事



議員さんの
ひと言

平成 28 年第 5 回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】平成 28 年 9 月 6 日 ~ 9 月 23 日 (18 日間)



※主な結果を掲載しています。

◆全国各地に大きな災害がありました。北海道でも7月から8月にかけて想定外の大型台風が4つも上陸し、十勝管内でも甚大な被害がありました。被害に遭われた方達にはお見舞い申し上げます。寒さが身にしみる季節になりました。議会は町民の福祉向上のために各議員がそれぞれの分野で頑張っています。議会に対してのご意見等聞かせていただければ嬉しいです。

【伊東久子議員】

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決の結果		
会議案第6号	議員の派遣について ⇒ 10月25日から28日 道外研修へ議員全員を派遣	平成28年 9月6日	賛成 10 反対 0	原案可決		
会議案第7号	議員の派遣について ⇒ 10月31日開催 十勝町村議会議員研修会へ議員全員を派遣					
意見書案第6号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の提出について			-	報告済	
承認第3号	専決処分の承認について ⇒ 一般会計補正予算(第4号)					
承認第4号	専決処分の承認について ⇒ 一般会計補正予算(第5号)			平成28年 9月23日	賛成 9 反対 1	認定
承認第5号	専決処分の承認について ⇒ 一般会計補正予算(第6号)					
報告第3号	平成27年度上士幌町財政健全化判断比率の報告について					
報告第4号	平成27年度上士幌町公営企業資金不足比率の報告について					
報告第5号	専決処分の報告について ⇒ 車両物損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について。					
報告第6号	専決処分の報告について ⇒ 車両物損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について。					
認定第1号	平成27年度上士幌町一般会計歳入歳出決算の認定について					
認定第2号	平成27年度上士幌町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について					
認定第3号	平成27年度上士幌町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について					
認定第4号	平成27年度上士幌町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について					
認定第5号	平成27年度上士幌町水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について					
認定第6号	平成27年度上士幌町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について					
認定第7号	平成27年度北十勝消防事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について					
議案第55号	工事請負契約の締結について ⇒ ぬかびら源泉郷中央園地整備工事	平成28年 9月6日	賛成 10 反対 0	原案可決		
議案第56号	平成28年度上士幌町一般会計補正予算(第7号) ⇒ 1億643万5千円を追加し82億415万9千円に補正。					
議案第57号	平成28年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) ⇒ 69万3千円を追加し8億8369万6千円に補正。					
議案第58号	平成28年度上士幌町介護保険特別会計補正予算(第2号) ⇒ 743万1千円を追加し5億5461万7千円に補正。					
議案第59号	平成28年度上士幌町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) ⇒ 140万4千円を追加し2億4775万7千円に補正。					
議案第60号	平成28年度上士幌町一般会計補正予算(第8号) ⇒ 7279万7千円を追加し82億7695万6千円に補正。	平成28年 9月9日	-	報告済		
議案第61号	平成28年度上士幌町水道事業特別会計補正予算(第2号) ⇒ 4232万7千円を追加し2億5130万円に補正。					
意見書案第7号	平成28年8月の台風被害による災害対策に関する意見書の提出について	平成28年 9月23日	賛成 10 反対 0	原案可決		
報告第7号	専決処分の報告について ⇒ 車両物損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について。					
議案第62号	平成28年被表彰者の決定について					
議案第63号	平成28年度上士幌町一般会計補正予算(第9号) ⇒ 5514万7千円を追加し83億3210万3千円に補正。					

人を育て、人を活かすま
ちづくりについて

早坂 清光 議員

●活気にあふれたまちづくりを進めていくためには、町長のリーダーシップはもとより議員、町民、町職員の英知を結集した取組が重要である。そのためには、町民の方々の経験や技能を生かしてもらうこと、新たな挑戦の意欲を助長し、その実現に向け支援していくなど、人材の育成と人を活かすまちづくりの推進が重要な課題である。

第5回定例会（平成28年9月）

▼2名の議員より一般質問がありました

山本 和子 議員



①農林商工連携事業について。この事業を通じた新商品・特産品の開発などがふるさと納税に大きな貢献をしている。道の駅の検討も進められているが、今後の新商品開発などに向けた人材育成は重要である。どのように推進されようとしているか。

②今年、北海道バルーンフェスティバルは43年の歴史を刻んでいる。パイロットやスタッフの育成の現状と今後の考え方を伺いたい。

③他市町村ではシルバー人材センターや高齢者生きがい事業団などの名称で職場を定年退職された方や事業を譲られた中高齢者の活躍の場が組織されている。本町でもまだまだ元気で活

躍してほしい人がたくさんいる。また、こども園に子どもを預けるお母さんでも2、3時間なら働きたいという声もある。今後の考え方を伺いたい。

④行政運営の中核である町職員は、各職場の中で使命感と誇りをより高めながら生きいきと働いてもらうことが大切。職員の人材育成の現状と今後の考え方について伺いたい。

●①今後の新商品開発に向けた人材育成は、道の駅の整備においても重要な役割と認識している。本年度、農業技術センターに専門職員を配置した。このセンターを中心に新商品を開発したい。関心層に積極的に働きかけ、技術的なアドバイスも含め商品開発、人材育成を推進する。専門職員がコ・ディネートしながらいろんな人たちの組み合わせで新商品開発を精力的に行ってい

きたい。

②本町が日本の気球史に果たした役割は大きく、町の財産・宝として次世代に引き継ぐことが必要と認識している。近年、新チーム設立はなく既存チームへの加入者も少なく、大会運営の担い手も減少している。人材育成は喫緊の課題と捉え、本年度からパイロット、クルー、競技役員の人材育成を図ることとしている。熱気球のまちとして再構築していきたい。また、町の気球の有効活用、気球購入の支援などの検討をしたい。

③本町でも過去に高齢者を中心とした同様の組織があったが、残念ながら現在は解散されている。組織の結成には、手助けを求める方のニーズ、事業の働き手となる方のニーズ、組織の中核となる人材確保、運営経費など整理すべき課題がある。今後、健康づくり、生きがいづくり、社会貢献活動が推進されるよう働く場の確保に努め、人材活用活動の拠点の構築を進めたい。

④厳しい地方財政を背景に職員数を大きく削減している中、国・道からの権限移譲や地方創生などの新たな取組など、業務は多様化し、人材育成に向けた研修

は重要と認識している。職員研修には幅広い要素があるが、何よりも自らを高める自己啓発が基本である。具体的な研修として町村会などでの基礎知識や専門性を高める研修、町独自の担当業務外のイベント参加などの研修を行っている。研修の成果は、即日常業務に反映されるものと徐々に成果があらわれるものがある。研修は継続した取り組みが必要であり、今後も研修を計画し、その成果が生かされるよう努めたい。

平成28年度の財政状況
と有効活用のために

山本 和子 議員

●①国からの自由に使える交付金(普通地方交付税、臨時財政対策債)が決定し、当初予算と比較し、約2億円多い。執行残にせず有効に活用するべき。

早坂 清光 議員



答

②基金の活用について。平成27年度末残高は、過去最高72億円。ふるさと納税金により、子育ての町独自施策が充実してきているが、今後の活用は。

③貧困化が進む中、弱者と言われる方々への新たな施策が必要である。

④約2億715万円多いが、今回の補正で、6107万円追加補正している。今後、生涯学習センタの備品等で多額の支出が予定されている。緊急性、必要性のあるものは、優先度を踏まえて対応していく。

②「夢基金」は流動性が大きいし、保育・教育負担軽減の継続性から、将来にわたって資金を担保。

③町民に必要なとされる有効な施策は速やかに実行する。

北団地の今後の活用と修繕について

山本 和子 議員

①平成27年に今後の公営住宅の建て替え等の案が示され、今後町民合意のもと進められていく予定であるが、今後の北団地の活用は。

②当面の修繕について。北団地は築40年以上経過し、かなり不便を感じている方が多い。玄関や壁のひび割れ等、緊急に修繕が必要な箇所もあり、アンケート等とり、修繕をするべきである。

③①公共施設改修計画の整備方針(まちなか居住)や生涯活躍のまちの観点から、介護や見守りなど高齢者福祉住宅として抜本

的かつ計画的に整備していく。
②玄関の修繕は、枠の取り替えを前提とした大規模な修理方法など、施工方法を検討し、随時改善していく。ひび割れは緊急性の高い部分は早急に修理する。住んでいる方の要望等を聞く機会を設ける。

教育費の保護者負担軽減に向けて

山本 和子 議員

①修学旅行経費への助成について。「人口ビジョン・総合戦略」の柱の一つに計画されているが、どのように検討されているか。

②中学生ジャージの助成について

③給食費への助成について。食材は町が責任を持って負担し、保護者負担をなくすべき。
④子どもの貧困化が進む中、就学援助の状況は、該当にならないとかなりの負担になるが、その救済策は。

①小学校は2万3800円、中学校は6万4800円かかっている。半額助成を検討しているが、今後、実施年度を決定していきたい。

②日常的に着用する衣服等は基本的に自己負担と考えている。
③平成26年の消費税引き上げ分3%と物価上昇分は町が助成していく。今後、10%引き上げ時に十勝管内の実態を踏まえながら検討する。
④就学援助率は6月議会では、約18%と答えたが、現在は19.57%と増えた。総合的に判断したい。

今回の一般質問の様子は、上士幌町議会ホームページ第5回定例会9月6日(火)【午前分】及び【午後分】の録画中継から視聴できます。



議会だより
編集特別委員会

委員	委員	副委員長	委員長	議長
佐藤	中村	野村	山本	杉山
昇	保嗣	恵子	和子	幸昭

ぎが、日誌

9月～11月

【9月】

- 1日◆議会運営委員会
- 6日◆第5回定例会(1日目)
- 8日◆決算審査特別委員会
- 9日◆第5回定例会(2日目)
- 14日◆総務文教厚生常任委員会
◆産業経済建設常任委員会
- 16日◆議会運営委員会
- 23日◆第5回定例会(最終日)
◆議会だより編集特別委員会

【10月】

- 17日◆町民と議員の意見交換会
- 25日◆道外視察研修(～28日 栃木県、千葉県)
- 31日◆産業経済建設常任委員会(議員公開公共工事調査)
◆十勝町村議会議長会議員研修会(幕別町)

【11月】

- 21日◆総務文教厚生常任委員会
- 22日◆産業経済建設常任委員会
- 25日◆議会全員協議会
◆議会運営委員会